

会長記者会見の概要

日 時：2025 年 9 月 11 日（木） 15 時 00 分～15 時 30 分

場 所：東京証券取引所ビル地下 1 階 兜倶楽部

会見者：須田事務局長

（なお、今回は須田事務局長が代理で会見を行った。）

記者：

8 月は、公募株式投信（除く ETF）において 7,012 億円の資金流入を記録する中、MRF においても 6,952 億円もの資金が流入し純資産総額が過去最高を更新したとのことだが、この点についてどのように分析されているか。

統計情報室長：

MRF は主に証券口座における待機資金のために利用される。ご指摘の通り、公募株式投信（除く ETF）に関しては資金が流入しているが、JPX 公表の現物株の売買動向データによると、5 月から 8 月にかけて個人投資家による資金流出が見られ、特に 7 月は 1.4 兆円超、8 月は 1.1 兆円超の資金流出を記録している。これら現物株売却により待機資金となったものの一部が証券口座を通じて MRF に流入したものと見ている。

記者：

公募株式投信（除 ETF）の純資金流入はここ半年の株価上昇局面において減少傾向にあったが、8 月は強い相場状況下でも純資金流入額（7,012 億円）が増加に転じている。このことから、投資家のセンチメントに何らかの変化等感じとれるか。

事務局長：

ご指摘の通り、本年 4 月以降の株価上昇の影響等もあり、純資金流入額は本年 1 月を境に減少傾向にあったが、足元 8 月は株価上昇が思いのほか解約の増加に繋がらなかったようだ。8 月単月の純資金流入額の増加をみると、流れとしては悪くないと思うものの、やはりマーケットの話なので、単月のみのデータを切り取って「トレンドが変わった」、「マインドが変わった」と判断するのは尚早に感じる。もう少し長めのトレンドを見てみないと判断することは難しい。

記者：

公募投信のファンド本数がこのところ増加傾向にあるようだ。去年は、プロダクトガバナンス強化の影響により、設定本数減少と償還本数増加となったと思っているが、今年は償還がそれほど多くないようだ。今年に入り償還できるファンドが一巡してしまったのか、それとも、プロダクトガバナンス強化はあくまでもパフォーマンスの改善等が前提で、ファンド本数を減らすことが本来の目的ではないといった理由により償還の流れが落ち着いてきている等、ファンド本数増加の背景についてお分かりであれば伺いたい。

事務局長：

各社の状況を個別に詳らかにしているわけではないが、ご指摘の通り、ファンド本数はここ数ヵ月増加傾向にある。昨年は（通貨選択型や）一部のテーマ的なファンド等を中心に償還が進んだことで減少傾向が続いたが、最近は特徴的な傾向は見られない。どのように償還するのかという点については、販売会社もあり、投資家もありという中で、委託会社が個別の事情を勘案し、相当難しい判断をしていることもあろうかと思うが、全体としてはファンド本数が減っていく傾向を期待している。また、行政サイドでも、府令改正により償還手続きを簡素化する動き等もあることから、ファンド本数減少のトレンドに転じていけると良いという期待を持ちながら数字を見ているところである。

統計情報室長：

ファクトブック「9. 契約型公募投信の新規設定・償還・運用中ファンドの本数」では、ファンド本数をお示ししている。2024年は1年間で453本の償還があったが、本年8月末時点では193本に留まっており、償還ペースがやや落ちているように見える。

記者：

以前の会見で、投資運用会社役職員へのなりすまし等による投資詐欺が増えているといった注意喚起のお話があったが、その後、足元の状況に変化等あれば伺いたい。

事務局長：

先月の会長記者会見においても、投資詐欺に対する注意喚起に関してメディアでも記事として取り上げていただきたい旨お願い差し上げており、その後、実際に配信記事を出していただいた社もあったことについて感謝申し上げたい。

ただ、状況は静まるどころか、むしろ拡大傾向にあるようだ。投資詐欺は実に巧妙で、実在する役員を語るサイトを作成・誘導し、そこからSNSを通じてIPO等をテーマに出しながら投資勧誘し、お金を振り込ませるといったケース等もあり、中には億円規模の被害に遭い相談を受けているとのことを複数の本会会員より耳にしている。

既にご案内のとおり、協会HPのトップページにバナーを掲載したり、各委託会社HPやSNS等を通じて投資詐欺に対する注意喚起を行ったりしているが、業界内でやれることにも限界がある。如何せん、この手の詐欺は、被害が発生してから警察が動いたり、報道されたりすることとなるが、私共は寧ろその入口に絶対入らないで欲しいという思いが一番にある。マスコミの皆さんにもご協力いただき、引き続き注意喚起のメッセージを出していただけることを切に願っている。

以上